



# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2007年4月 No.299  
 Chartered July 20, 1982

| 主 題 Y ' s THEME ( 2 0 0 6 ~ 2 0 0 7 ) |                           |
|---------------------------------------|---------------------------|
| センテニアルクラブ会長:                          | 『たのしくなければ、センテニアルじゃない!!』   |
| 国際会長                                  | : 『愛をもって 積極参加』            |
| アジア会長                                 | : 『参画、そして感動を!』            |
| 西日本区理事                                | : 『一人はみんなのために、みんなは一人のために』 |
| 中西部部長                                 | : 『いざ立て! 熱き思いをいだいて』       |

| クラブ役員 | Officers |
|-------|----------|
| 会長    | : 坂本 哲朗  |
| 副会長   | : 永島 寧   |
| 書記    | : 石津 雅人  |
| 会計    | : 藤原 正巳  |
| ネット会長 | : 坂本 千春  |
| Y連絡職員 | : 鍛冶田 千文 |

## Biblical Message of April

ボアズは監督している しもべに言った。「これは誰の娘か?」「あれはモアブの地からナオミと一緒に帰ってきたのですが、彼女は『私に刈る人たちのあとについて、束のあいだで、落ち穂を拾い集めさせてください』と言い、朝早く来て、今まで働いて、少しのあいだもやすみませんでした」

(ルツ記第2章5節)

## April Club Meeting 『テーマ: Yサ・ASF』

### 4 月 第 1 例 会

日時: 2007年4月18日(水) 18:30~20:30

場所: リーガランドホテル3階 葵の間

司会 石津 雅人 君

1. 開会点鐘 坂本 哲朗会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 坂本 哲朗 会長
4. 聖句朗読 中村 茂高 君
5. 今月の強調活動・YMCAサ・ビス・ASF  
松浦 孝次 君
6. 晩 餐 一同
7. スピーチ  
「ヒマラヤからカリブから」  
奈良 昭彦 氏(京都関西セミナーハウス所長)
8. インフォメーション
9. お誕生祝い・ニコニコ献金
10. 閉会点鐘 坂本 哲朗会長

### 4 月 第 2 例 会

日時: 2007年4月20日(金)~21日(土) 1泊2日

場所: パナヒルズ大阪

吹田市青葉丘南10番1号 Tel.06-6877-0111

大阪モノレール「宇野辺駅」から徒歩10分。シャトル

バスが20分おきにあります。

\* 4月お誕生日 隅田メネット13日

## 「いのちの電話」と「センテニアルクラブ」

山田 孝彦

わがセンテニアルクラブでは、チャーターの時から「関西いのちの電話」をCS事業の対象として支援してきました。そして今でも「いのちの電話」に関わる人がセンテニアルメンバーとして活躍しています。チャリティコンサートやバザーにはセンテニアルクラブ挙げて応援し、参加して来ました。

また、「会報」発送の作業は、センテニアルメネットが全面的に協力して奉仕しています。そんな関係の「いのちの電話」ですが、実際の活動状況については、あまり取り上げてこなかったのが、この機会に少し近況報告してもらいました。

(近況報告は次ページに掲載しました。)

## 【クラブ統計 Statistics】

| 2007年3月   | 種 別   | 第1例会 | 第2例会 | BFポイント         | ニコニコ献金  |
|-----------|-------|------|------|----------------|---|
| 在籍会員 17名  | メ ン   | 13名  | 7名   | 2、3月: 切手 370g. | 3月: 21,405円<br>(06年7月からの累計):<br>累計: 180,130円<br>オクヨン累計: 55,500円 |
| 例会出席 13名  | メネット  | 6名   | 0名   | 現金 0円          |   |
| うちキーキャップ  | ビジター  | 0名   | 0名   | (06年7月~07年3月の  |   |
| 0名        | ゲ ス ト | 4名   | 0名   | 累計)切手 1,750g   |   |
| 出席率 76.5% | 合 計   | 23名  | 7名   | 現金 2,000円      |   |

## 今月の聖句に寄せて

「ルツ記」とは、実は嫁姑の物語です。世間の嫁姑の関係という、あまりよいイメージは少ないですが、その姑ナオミと嫁ルツの物語は心うつ美しい物語です。異国モアブで、夫に先立たれたナオミの2人の息子が外国人の嫁をもらいます。ほどなくして2人の息子も亡くなり、ナオミは母国に帰る決心をします。2人の嫁に別れを告げたとき、「あなたの行く母国は私の母国、あなたの信じる神は私の神」と言ってベツレヘムまでナオミに付いて従ったのがルツです。やがてナオミの親戚で麦畑の主であるボアズとルツは結ばれます。この物語は旧約聖書の中では短い物語ですが、イスラエルの聖霊降臨の日には必ず朗読されるほど重要な箇所のです。

聖句選・コメント：中村 茂高

## 3月第1例会

松浦 孝次

とき：06年3月22日(水) 18:30～20:30

ところ：リーガランドホテル4階

スピーカーに渡邊公生さん(京都プリンスクラブ、1級建築士)なかのしまクラブから杉浦真喜子さん、山地和家子さん、ゲストに奥田敏彦さん(藤原正巳メンの知人)を迎え、総勢23人で3月例会を楽しみました。なかのしまクラブのお2人からは、さる2月12日に10周年記念例会を無事終えたことの報告とお礼が述べられました。

○藤原メンの司会のもとに、山田メンが聖句朗読とEF/J WFの解説を。YMC A 鍛冶田さんから、クリスマス献金のお礼(195万円)と「表コミ学科」の現状(多くの学生・生徒を受け容れている)について説明がありました。

○渡邊公生さんは、「未来への設計図」と題して、自ら手がけられたエコ住宅の建設事例(京都市・風の荘)について説明されました。地球環境の悪化(地球温暖化など、2050年に1上昇!の予測)、生命・健康を害している住宅(シックハウス)に対して、「生命・健康を守る」「地球環境を守る」を旗印に、エコ住宅をグループで設計・建設されたもの。「パウピオロジー」(BAU 建築・BIO 生物・LOGIE 宇宙～精神世界)という思想があることを、初めて知りました。その思想を具体化されたことに感銘を受けました。

○ゲストの奥田敏彦さん、ぜひクラブにご入会を!いろいろな事業に関わってこられた、豊富な人生経験をご披露ください。期待しています。



写真がないので、昨年11月の例会風景を・・・

## 「関西いのちの電話」近況報告

関西いのちの電話では、昨年の受信件数は、19,742件。そのうち、「死にたい」と訴えてくる自殺念慮のある人が2,585件(13%)、精神障害にある人が10,199人(52%)です。いずれも、年々増加しています。景気は上向いているとの声も聞きますが、一人ひとりにとっては生活は厳しく、社会病理は根深いものがあるように思えます。職場で人間関係が上手くできない。仕事が思うようにすすまない。周りからは「のけもの」にされる。そのうちに出社できなくなり、気力、体力も失せ、ついにはうつ病になる。さらには、親の介護に追われる妻も疲れ果ててしまう。しだいに経済的にも追い詰められていく。いろんなことが度重なって「何のために生きているんや!」と絶望的になる。このような内容の電話が増えています。

うつ病の人は薬を常用しています。もちろん、それが効果をもたらすこともあります。しかし、薬だけでは治らない。自分自身を受け止めてくれる人があってこそ、人として生きられるのだということを「いのちの電話」を通して実感します。

センテニアルのみなさん、いつもご支援いただき、感謝申し上げます。

関西いのちの電話 事務局長 八尾 和彦

相談電話 06-6309-1121

(24時間 365日受付)

URL: <http://www.kaind.net/index.html>

## 3月 BF ニュース

(1)'06～07年ファンド事業のうち、「台付き使用済み切手」を締め切り、当クラブとして「3Kg」(1,800円相当)を送付しました。

(2)使用済み切手の提供者と重さは次の通りです。ここからは新年度分。

切手提供者：中村隆、山田、隅田、松浦、福永、藤原、三浦君 小計290g

また、2月分として福永、上月、藤原君を追加  
小計80g

総計370g

殊勲賞：中村隆君 100g



【 Report of the March Club Meeting 】

3月28日(水) 18:45 ~ 20:30 大阪YMCA

出席: 石津、鍛冶田、坂本、藤原、三浦、山田、松浦君  
計 7名

4月第1例会=4月18日(水) 例会担当:石津、谷川  
海外ボランティア経験が豊富な 奈良 昭彦氏(京都関西セミナー  
ハウス所長、JICAシニアボランティアとして ブータン等に駐  
在、2月に帰国)にスピーチを依頼する。谷川メンの紹介による。

1. 4月第1例会 4月18日(水)

18:30~20:30 リ-ガランド ホテル  
強調月間; YMCAサ-ピス ASF(松浦)  
例会プログラム  
・卓話 奈良昭彦氏「ヒマラヤからカリブから」

2. 協議事項及び連絡事項

- ・第2例会 4月20日(金)、21日(土)  
合宿によるクラブ会員の交流  
内容 アメラジアン、ファンド他  
出席予定者数 約17名
- ・5月例会(5/16(水))  
卓話 岡野会長(土佐堀クラブ)  
BF代表として北欧に訪問された時の報告を聴きます
- ・6月  
評価・計画  
卓話を 永島 寧氏にお願いしてはとのこと。  
オ-クションを開催する旨をメンバーに伝えること。

3. その他

- ・ハワイ訪問時に先方のクラブに持参するお土産につ  
ては谷川氏に相談して決める

4. 今後の行事

- ・ハワイIBC 5/17(木)~5/22(火)
- ・第10回西日本区大会 6/9(土) 6/10(日)
- ・6/23(土)中西部 新旧合同連絡会 14:00~17:00  
土佐堀YMCA
- ・ベクセルクラブから合同例会の提案あり  
テ-マ EMC (次期に引継ぐ)

(三浦 直之)



センテニアルクラブホームページ

[http://www16.ocn.ne.jp/~osaka\\_hp/ys.html](http://www16.ocn.ne.jp/~osaka_hp/ys.html)

高齢者のためのビデオ・DVD販売中

昨夏、センテニアルワイズのディファレンスデーでチェアエ  
キササイズを行った部門から「高齢者の椅子に座ってできる転  
倒予防トレーニング」のビデオ、DVDを販売しています。ご家  
族、大切な人の健康を守るため、プレゼントにいかがですか?  
費用 ビデオ・DVD 各2100円+送料(6本まで640円)  
問い合わせ 日本介護予防指導者協会(大阪YMCA会館内)  
06(6441)0815

早天祈祷会

日時 4月20日(金)7時30分~8時30分  
奨励 浅野献一(大阪大道教会牧師)

ボランティア養成講座

発達障害児対象のサポートクラスのボランティアをしていただ  
けませんか?週に一度授業の記録または月に一度子ども達のグ  
ループリーダーとして活動に関わっていただきます。

日時 4月28日(土)10時~16時30分

〔内容〕

LD児および周辺児の基礎理解

竹田契一(大阪教育大学名誉教授・サポートク  
ラススーパーバイザー)

サポートクラスでの援助の仕方

飯田真子、櫻井綾子(サポートクラス講師)

ボランティアとは

鍛冶田千文(サポートクラスディレクター)

Club Activities ( April, 2007)

On March 22, the club's March meeting was held at the Rihga Grand Hotel, Osaka, with a total of 23 Y's men, Y's menettes, and the guests in attendance.

With it's emphasis on EF/JWF activities this month, Y's man TAKAHIKO YAMADA briefed the meaning and purpose of the programs.

The highlight of the March meeting was the speech made by Y's man KOUSEI WATANABE, authorized 1st Class Architect and Representative of the Baubiologie (Architectural Biology) Movement in Japan.

Pointing out of the ever worsening situation of the global environment, He enthusiastically spoke about the necessity of introducing the environment-friendly house which he is strongly advocating. His activities was telecasted by the NHK last November, thus gradually attracting the attention of the public.

After his very informative speech, many serious questions were raised by the members.

The contribution were collected from the members at the meeting which amounted Yen 21,405, together with the commemorative New Year stamps.





ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

ゲストとして参加させて頂きました。非常に上品な会だと感じました。また、本日のスピーチは大変興味深く聞かせて頂きました。(奥田 敏彦)

久しぶりにセンテニアルクラブの例会に参加させていただけて嬉しかったです。渡邊さんのお話、興味深く聴かせていただきました。今日、大学の桜の枝にお花が一輪咲いているのを見つけました。いよいよ春ですね。

(大阪なかのしまクラブ 杉浦 眞子)

「なかのしま」の10周年には大変お世話になり本当に感謝でございます。本日は例会に来させていただきうれしゅうございました。渡邊公生様のお話心にしみてございます。このお話を心の糧にしてマンマの活動に活かして行きたいと思っています。ありがとうございました。

(大阪なかのしまクラブ 山地 利家子)

会員からのメッセージ

環境問題に関しては「私たちに出来ること」を見つけ出し実行していかなければならないと再認識させられました。

(石津 雅人)

渡邊さんのお話大変興味深く聞きました。新築の家に入った時、突然アトピーになり何年も苦しんだことを思い出しました。自分の子ども、Yの生徒、そして世界中の子ども達のことを想うと全く違う建築のお仕事がYの仕事とダブリました。

(鍛冶田 千文)

渡邊公生さんの環境の話はとても身近な問題で良い勉強になりました。普段あまり考えないことに気づかされました。

(坂本 千春)

息子の拓也がシンガポールのYs宅へホームステイで行っています。

(坂本 哲朗)

久しぶりに出席できたことに感謝します。

(隅田 保)

5年前YMCAで私がチューターをしていた中国からの留学生ウエイさんが先日大学を無事卒業しました。久しぶりに会って「昨年、日本で働く中国の方と結婚した事、東京の旅行者に就職した」ことを話してくれました。生き生き輝いている様子里も嬉しく幸せを祈りました。

(隅田 恵子)

風の荘計画という貴重なお話し有難うございました。

(田中 穰二)

桜を観るのをとても楽しみにしています。40年50年先も美しい桜が咲く地球であってほしい。

(中村 幸枝)

環境問題を興味深く学ぶことが出来感謝です。気温と体温や酸性雨問題などの憂慮すべき関連を改めて考えさせられました。

(福永 嘉彦・滋子)

地球の温暖化、酸性雨などが生態系を壊している。住み良い環境と未来の為にCO<sub>2</sub>を少なくしていかないと考えています。今日は大変良いお話を聞かせて頂きました。(松浦 和子)

渡邊さんが環境問題をターゲットにした建築をしっかりと具現化されたことに驚きを覚えました。先駆的なことでしょうが一般に普及していくことを切望しますね。(松浦 孝次)

建築の健康におよぼす影響の大きさを知ることが出来ました。

(三浦 直之)

渡邊ワイズの今夜のお話はこれからの私達が自分の問題として学び、考え、実行しなければならないことなのに.....

明日になったらもう他人事になってしまう。これを乗り越えて少しでもよくする具体的な方法を考えて下さい。

(山田 孝彦)

一人一人が考えてこれからの地球を守っていかなければならないと思いました。

(山村 利子)



ハワイツアーの旅程

|          |   |
|----------|---|
| 5/17 (木) | 21:00 関西空港発<br>09:20 ホノルル空港着<br>空港にて書類渡し、以後自由行動<br>(12時チェックイン可)<br>ハワイ区の歓迎ディナーパーティーへの出席 |
| 5/18 (金) | 午前中はゴルフまたは観光(フリータイム)<br>午後は地区大会への参加   |
| 5/19 (土) | 地区大会への参加とショッピング   |
| 5/20 (日) | 又アヌクラブとのIBC 交流の集い   |
| 5/21 (月) | 14:05 ホノルル発   |
| 5/22 (火) | 18:10 関西空港着   |

後記

70年代のフォークソング全盛期に、あの透き通る美声で多くのファンを魅了した本田津子(ほんだ・るつこ)さんに、たまたま仕事で会う機会がありました。

やはりご両親はクリスチャンで、兄弟3人のうち、唯一聖書から名前をもらったのは自分だと話してくれました。

デビュー曲「秋でもないのに」に続き「風がはこぶもの」「ひとりの小さな手」、NHK「藍より青く」の主題歌「耳をすましてごらん」でたちまちお茶の間の人気歌手になった本田さんは、紅白歌合戦にも2回出場した実力派。当時は人気だけが先行し自分の心と次第にかけ離れてゆくことが嫌で、歌手活動を5年で終え渡米。そこで知り合ったクリスチャンのご主人と結婚。88年に帰国。今は主婦業と両立させながら、教会でゴスペルシンガーとして活躍されているとのことでした。多くの人々に「神の愛と慰め」を与え続ける本田さんの澄んだ歌声を聞いて、今月の聖句を思いつきました。

中村 茂高